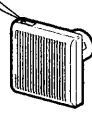


MITSUBISHI
三菱パイプ用ファン
浴室用
取付工事説明書

工事店さま用

形名によって取付工事が異なりますので、
予めご使用の形名をご確認ください。

形名表示位置



この製品の運転にはスイッチが必要です。
スイッチの位置を確認してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事に依頼してください。
- 接続パイプは市販の強化ビニル管、銅板管のいずれかをご用意ください。
- 直接屋外に排気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

浴室用	形名	グリル形状	電源仕様
	V-08PPK4/V-12PSK4/V-12PPKS4 (奥式シャッター付)	角形タテ格子グリル	コード直付
	V-08PPKD4/V-12PSKD4	丸形パンチンググリル	速結端子
	V-08PPM4/V-12PPM4	丸形グリル	コード直付
	V-08PPC4	丸形グリル	コード直付

警告

- 交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると感電の原因
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう取付ける
漏電・発火の原因
- 内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因
- 分解・改造はしない
火災・感電・けがの原因

注意

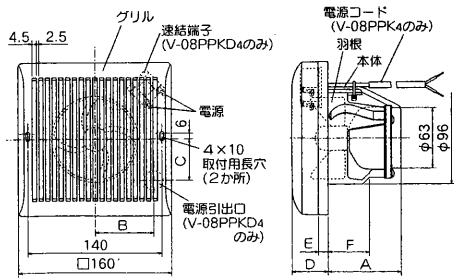
- 直接炎のある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない
火災の原因
- 浴室内に壁スイッチを設けない
感電の原因
- 本体取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によるけがの原因
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因
- 電気工事は必ず電気工事に依頼する
感電の原因
- 取付けの際は手袋を着用する
けがの原因
- 部品の取付けは確実に行う
落下によるけがの原因

お願い

- 高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。
故障の原因
- アルミプレキシパルダクトへの取付けはしないでください。
振動の原因
- システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。
壁厚により取付けられないものがあります。
- グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に取付けてください。
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

各部のなまえと外形寸法図

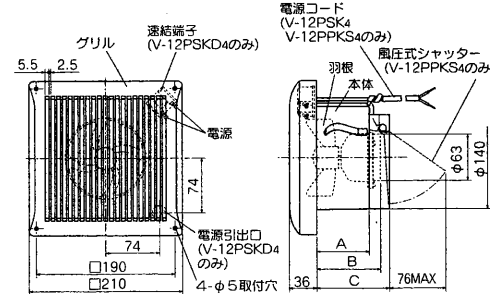
V-08PPK4, PPKD4



■変化寸法表

形名	A	B	C	D	E	F
V-08PPK4	81	-	-	28	-	48
V-08PPKD4	76	61.5	43	38	10	43

V-12PSK4, PSKD4, PPKS4

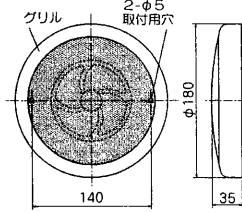


■変化寸法表

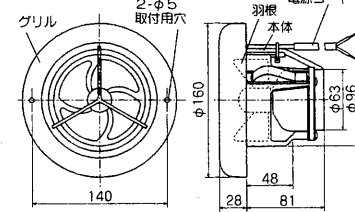
形名	A	B	C
V-12PSK4, PSKD4	71.5	86.5	-
V-12PPKS4	71.5	86.5	99

単位(mm)

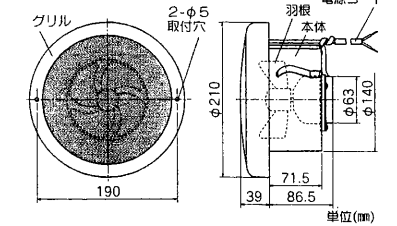
V-08PPM4



V-08PPC4



V-12PPM4



単位(mm)

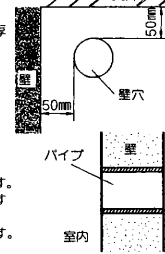
取付方法

1.取付前の準備

壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

- ①取付け場所を決めて壁穴を開ける。
●パイプには強化ビニル管の薄肉（VU）管と厚肉（VP）管および銅板管があります。
壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。

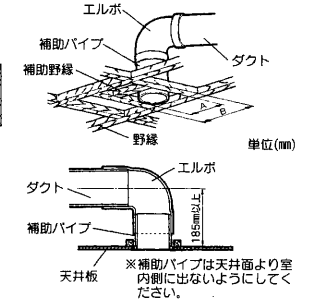


- ②壁穴にパイプを確実に固定する。
パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
●固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
●パイプは室内壁面より出ないように差し込みます。

天井取付けの場合

野縁工事とダクト配管

- ①右図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。
- | タイプ | A | B |
|-------|------|------|
| 08タイプ | □120 | □180 |
| 12タイプ | □170 | □230 |



- ②ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。
- ③エルゴと天井板の間は補助パイプを接続する。

※補助パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

2.電気工事

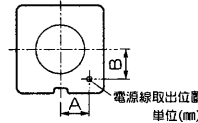
電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご相談ください。

- システム部材のスイッチを取付ける場合はシステム部材に同梱の取付説明書に従ってください。
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるとき電源線をはさまないように配線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨の当たらないところに設けてください。

★この製品は電気用品取締法の二重絶縁構造に適合しており、アース工事が不要です。

速結端子タイプの場合

- ①電源線を右図の位置から室内に引き込む。
電源線はVVVFφ1.6、2芯をご使用ください。
- ②電源線の先端を約10mm皮むきます。



形名	A	B
V-08PPKD4	61.5	43
V-12PSKD4	74	74

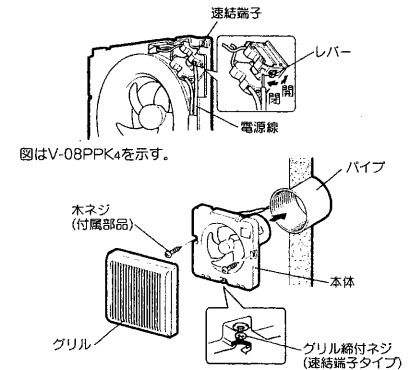
警告 交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると感電の原因

注意 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因
電気工事は必ず電気工事に依頼する
感電の原因

3.本体の取付け（壁取付け・天井取付けともに同様の取付け方です）

- ①グリルを本体からはずす。
(速結端子タイプはグリル締付ネジをゆるめてから行ってください。)
- ②結線をする。
(1)電源コードタイプの場合
●2芯ビニルキャブタイプケーブルを単相100V電源に接続し、絶縁処理をします。
(2)速結端子タイプの場合
●電源線を速結端子に差し込みます。
(オレンジ色のレバーが「開」側になっていることを確認し、電源線先端を差し込み、レバーを「閉」側へ引き上げてください。)

速結端子タイプの電源接続方法



お願い

- 電源線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線は本体面に密着させて配線してください。浮き上がるとグリルの取付けができません。

- ③本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定する。
- ④グリルを本体に取付ける。
●グリルの方向間違えないよう本体にはめ込みます。
(速結端子タイプはワッシャーをグリルの外側に当てて締付ネジを締付け固定します。)
- ⑤以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。